

【 レースにあたっての審判上の諸注意 】

今大会は、日本ボート協会競漕規則、大会要項、以下の審判上の諸注意および代表者会議での決定事項に基づきレースを運営します。

1. 健康について

各クルーは健康管理に十分注意を払い、万全の状態ではレースに望んでください。熱中症はもちろん、コロナウイルス感染防止対策にも留意し、発熱での来場および出漕は絶対に避けてください。また、乗艇後に於いて体調不良となった場合は、無理せず速やかに最寄りの審判員あるいは他の役員に申し出てください。

2. 事故防止と安全確保、航行ルールの遵守について

- ① 各クルーおよび参加者は事故のないよう常に安全最優先で行動してください。安全については各クルーが自主的に対策を確実に行ってください。
- ② レース前の練習およびレース後の回漕については決められた航行ルールを守り、周囲の安全を確認した上で行ってください。また、危険水域や規定の棧橋以外には行かないでください。気象の変化や風・波等にも留意し、大会本部等から指示がある場合はこれに従ってください。
- ③ レース中、クルーの安全が確保できない状況や危険が生じた場合、もしくはそれが予想された場合にはレースを中止することがあります。
- ④ 練習中のクルーならびにコース沿いを回漕するクルーはレース艇が近づいた場合、レースの100m手前から最終クルーが通過するまでの間、その場で停止してください。これに違反した場合はイエローカードが与えられます。
- ⑤ 練習中又は回漕中に航行規則を守らず接触・衝突等したクルーにはイエローカードを与え、重大な場合はレッドカードを与え除外とします。
航行ルールについては、別添の「久々子湖航行ルール（練習時、レース時）」を十分確認してください。
- ⑥ すべてのレース艇は、艇首に直径4cm以上のゴム又はこれに類似する材質で、中空でない白色のパウボールを取り付けていなければなりません。これに違反したクルーは失格となります。
- ⑦ 落水時、ストレッチャーから足が抜けず危険な状況も想定されるので、適切な長さのヒールロープが付けられているか、もしくはフットストレッチャーから速やかに離脱することができる形式のものを必ず使用してください。

3. 各種手続き（届け出）について

- ① 棄権・メンバー変更・ブレード変更（不統一）の届け出や願いの手続きは、競漕委員会へ定められた時間までに所定の手順で行ってください。
- ② シート変更（漕手間の変更）については、事前に届け出る必要はありません。

4. 監視と舵手計量について

- ① 監視は棧橋にてレースに出漕の都度行います。ユニフォーム・ヒールロープ等の確認を行いますので、監視審判員の指示に従ってください。監視を受けずに出艇することはできません。
- ② 舵手の体重はユニフォームを含め、男子 55 kg 以上、女子 50 kg 以上とし、これに満たない場合は最大 15kg のデッドウェイトを舵手の最も近いところに置かなければなりません。
計量は、レース日ごとに出漕するレースの2時間前から1時間前までに、B&G 艇庫1階で受けてください。規定時間内に計量を受けない場合は失格となります。
また、この件に関する呼び出し放送は行いません。なお、計量所での飲食は禁止します。
- ③ 予備計量（本計量器による測定）は1回に限り認めますので、申告してから測定してください。
- ④ デッドウェイトの携行を命ぜられたクルーが、携行せずにレースに出漕すればレッドカードが与えられ除外となります。

5. ユニフォームおよび服装について

- ① クルーは出漕に際し、統一したユニフォームを着用してください。（「統一したユニフォーム」とは、「外見がまったく同じもの」のことであり、色あせ、迷彩模様・幾何学模様、個人名、イニシャル、ポジション名等の記載（刺繍）には注意してください。）
また、ユニフォームの他に着用する帽子・鉢巻、アンダーシャツ、アンダーレギンス、靴下なども統一されなければなりません。
- ② 帽子・鉢巻については、クルー内で着用する者としめない者があっても不問とします。ただし、着用する場合は、漕手・舵手とも同じものを着用しなければなりません。
- ③ 以下のパーソナルアイテム（装着品）は統一されている必要はありません。
例：眼鏡・サングラス、ネックレスなどのアクセサリ類、腕時計、指輪、手袋、サポーター、リストバンド、包帯など。

6. コースへの進入について

前のレースがスタートし200mを通過すると、発艇員は次のレースのクルーをコースへ呼び込みします。その呼び込みを受けてから指示されたレーンに速やかに進入しステイクポートにつけてください。

7. 発艇定刻の厳守と発艇について

- ① 各クルーは発艇定刻 2 分前までに所定の発艇位置(ステイクボート)につけてください。特段の事情がない限り、遅れた場合はイエローカードを与えます。艇の故障等で間に合わない場合は、必ず最寄りの審判員に申し出て指示を受けてください。ただし、申し出ても発艇定刻は概ね 1 レース程度しか変更しません。また、許可なく発艇定刻に遅れ、レースに参加できなかったクルーは DNS(Did not start)となります。
- ② 発艇定刻 2 分前になったらいつでも発艇できるように準備をし、各クルーの責任で進行方向を定めておいてください。風波等の状況によりクイックスタートで発艇する場合があります。
- ③ 発艇号令は、次の手順で行います。

通常のスタート : 「ロールコール」 → 「アテンション」 → 発艇旗を挙げる → 「ゴー」の発声と同時に発艇旗を振り下す

クイックスタート : (ロールコールなし) → 「オールクルーズ」 → 「アテンション」 → 発艇旗を挙げる → 「ゴー」の発声と同時に発艇旗を振り下す

8. レース中の留意事項について

- ① レース中に艇の故障およびオールの破損等が生じても特別な救済措置はありません。また、これに関する異議は認められません。故障や不具合が生じないように各クルーの責任で十分に点検しておいてください。
- ② すべてのクルーは自己のレーンを進行しなければなりません。他のレーンへの侵害や、他艇に妨害を及ぼす危険のあるクルーに対し、主審が警告することがあります。この場合、主審は白旗を掲げクルー名をコールします。また、主審はレース中、障害物の出現や衝突等の危険が切迫しているクルーに対し、状況によっては白旗を掲げ「〇〇止まれ！」のコールをし、当該クルーのみに停止を求めることがあります。この場合は主審の指示に従ってください。
何らかの理由でレース全体を止める場合は、主審が赤旗を振り、鐘を鳴らし、「止まれ」と指示します。
- ③ 主審艇はレース状況により、遅れたクルーを追い越すことがあります。この場合、追い越されたクルーは波をかぶることがあります。

9. レース中の選手の落水について

レース中に漕手が落水(転覆)した場合、自力で速やかに乗艇(回復)し決勝線を通過すれば着順を認めます。ただし、舵手を欠いて決勝戦を通過したクルーは失格となります。また、自力での乗艇に手間取り次のレースに支障をきたすときや、安全上の問題があると審判員が判断したときには救助します。この場合、DNF(Did not finish)となります。

10. 指導・警告・除外とその取り扱いについて

- ① クルーが違反・不正行為などを行った場合、指導や警告(注意・イエローカード・レッドカード)が与えられます。同一ラウンド内でイエローカードが 2 回与えられるとレッドカード(除外)となります。イエローカード・レッドカードが与えられるときは、審判から該当色のカードが提示されます。
- ② 大会期間中の航行ルールを守らなかった場合などには、指導やイエローカードが与えられます。また、あらかじめ定められていない事柄でも、審判が警告対象と判断した場合はイエローカードを与えることがあります。
- ③ クルーが受けたイエローカードはレースが成立した時点で解消しますが、レース成立後の回漕中に受けたイエローカードは、大会中の次レースまで持ち越されます。

11. レース終了後について

- ① 決勝線を通過したクルーは、全クルーが通過し、主審が旗を掲げるまでゴール付近で待機してください。
- ② レースに対する異議がある場合は、主審が旗を掲げる前に手を挙げて主審に申し出てください。主審から白旗が揚がった場合はレース成立ですが、赤旗が揚がった場合は、レースに何らかの問題があったことを示していますので、その場にとどまり主審の指示を待ってください。
- ③ 主審の決定に対して不服があるクルーは、当該決定の通知後 1 時間以内にその所属団体の代表者もしくは代理人を通じるなどで、審判の資格を有する者 3 名(当該決定を下した審判以外の者)で構成する不服審査委員会に対し、不服を申し立てることができます。

12. 伴走の禁止

当コースに添った遊歩道での自転車等の乗り物による伴走は禁止です。伴走を発見した場合、競漕委員会は当該団体に対し、適切な処置を行うことがあります。

13. その他

- ① レースに参加するために出艇する艇内に無線通信機器(携帯電話・トランシーバー等の外部と通信できるもの、その機能のあるもの)を持込むこと及び岸から拡声器又は無線通信で指示を与えることは厳禁とし、これに違反した場合は失格とします。
- ② 各クルーはバウナンバープレートを必ず艇首に取り付け、テープ等で固定してください。

- ③ 指導や注意の対象となる違反よりも重いルール（要項、競漕規則等に定めるもの）違反をしたクルーに対して、審判は警告（イエローカード）を与えることができます。
- 同一ラウンド内で2回のイエローカード（フォルススタートを含む）を受けるとレッドカード（除外）となります。イエローカードは同じラウンド内（そのラウンドでのレースが成立するまで）は有効であるため、当該レースの延期又は再レースの場合にも適用されます。
- ④ 今大会の決勝Ⅰにおいてレッドカード（除外）を受けたクルーが決勝Ⅱに出漕する場合、他のクルーとの公平を期すため、決勝Ⅰを正常な競漕速度でレースを漕了しなければなりません。また、決勝Ⅰで代表権を得たクルーが決勝Ⅱでレッドカードとなった場合も同様に決勝Ⅱを正常な競漕速度で漕了しなければなりません。これに違反したクルーは失格となることがあります。

以 上